「新大分スタンダード」による主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導案（略案）例

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ①学年・組 | ②職名・授業者氏名 | ③教科 | ④ペアでの話合い活動 | ⑤グループでの話合い活動 |
| ５年１組 | 教諭・日田　太郎 | 音楽 | 有 ・ 無 | 有 ・ 無 |
| ⑥単元名(題材名) | 心をこめて歌おう |
| ⑦本時のねらい | 曲の山場の歌い方を、歌詞の表す気持ちを想像したり旋律から曲の山場を感じ取ったりする活動をとおして、どのように歌うかについて自分の意図をもつことができるようにする。 |
| ⑧本時の評価規準 | 【思考・判断・表現】曲の特徴をとらえた表現を工夫し、どのように歌うかについて自分の意図をもっている。〔発言・ワークシート〕 |
| ⑨展開 | めあて | 気持ちを歌にのせ、もり上がりを生かして歌おう。 |
|  | 課　題 | どうしたら曲の山場をもり上げることができるかな。 |
| 手立て | 「Ｃ:努力を要する」状況の児童への手立て・曲の山場部分を強調（色つき）した拡大歌詞を用いて、盛り上がりを感じさせる。 |
| 「特別な支援等の配慮を要する」児童への手立て・要素の聴き取りが苦手な児童に対して、音楽に合わせて一緒に拍を打ったり体を動かしたりする。 |
| まとめ | 曲の山場を強く歌うだけでなく、山場でないところを語るように心をこめて歌うと、もり上げることができる。 |
| 振り返り | ※歌詞の気持ちについて友だちと考えることができたか、曲の山場を意識して強弱を工夫することができたかについて、個人で確認をする。 |
| **板書計画**　　　　　　　　　　　　気持ちを歌にのせ、もり上がりを生かして歌おうめあて　課 題　　　　　　　　　　　　どうしたら曲の山場をもり上げることができるかな楽譜『どんなときも』旋律調(音階)速さ音色　　曲の山場を強く歌うだけでなく、山場でないところを語るようにまとめ心をこめて歌うと、もり上げることができる。音の重なりフレーズ　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　歌詞の気持ちについて友だちと考えることができたふり返り拍の流れリズム　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　曲の山場を意識して強弱を工夫することができた |